

岐阜県議会議員

若井あつこ 県政だより

岐阜を
笑顔に。

第1号

2015年11月
発行



若井あつこ事務所 〒500-8323 岐阜市鹿島町一丁目十番地 加藤第二ビル二階
TEL.058-252-1115 FAX.058-252-1151 ✉ wakai-jimusho@marble.ocn.ne.jp

平成27年度
第4回定例議会 一般質問

平成27年
10/1



平成27年第4回岐阜県議会定例議会
において初登壇させて頂きました。

質問1

2020年東京オリンピック・パラリンピック等に向けた選手の強化策と選手育成の進捗状況について

2020年まであと5年という限られた時間の中で、県ゆかりの選手が納得いくまで競技に向かい合うために県としてどのような強化策を考え、また選手育成の進捗状況を尋ねました。

清流の国推進部長 答弁

今年度からは支援対象を拡大し、さらに「スポーツ科学センター」において個々の選手のニーズに応じたサポートを実施。また、オリンピック出場枠を獲得した競技の中にも本県のオリンピック強化選手が4名所属し、今後も競技団体と連携して有望選手の発掘と育成に尽力する。



質問2

スポーツ指導者の指導力や資質向上に向けた取り組みについて

選手にとって多大な影響力がある指導者の指導力、資質向上がなされなければ本場の強さである「負けない心」を養う場にはなり得ません。選手が「人生道場」として生き方を学ぶ上で密接な関係を築く指導者の資質向上は大切な課題です。

清流の国推進部長 答弁

平成25年度より指導者の人間性を育むための講習会への参加、全国の優秀指導者の下で指導法を学ぶ指導者の育成支援。今年度よりジュニア選手の指導者を対象とした研修会も実施。長期的な視野に立った育成に努める。

質問3

女性アスリートの健康管理に関する考え方について

女性アスリートの目ざましい活躍が見られる裏で「エネルギー不足」、「無月経」、「骨粗鬆症が大変深刻な問題となつていきます。(女性アスリート三主徴) これらのことは、女性アスリートが現役を引退した後もすこやかに生活していくために、スポーツ界全体の大きな問題として捉えなくてはならない段階にあるため県としての取り組みを尋ねました。

清流の国推進部長 答弁

県はこれまで、女性アスリート向けに専門家による問診や面談といった対応を実施。指導者育成研修事業において、まずは指導者を対象に研修会も開催予定。今後は選手自身や保護者に正しい理解が進むよう努力していく。

質問4

飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアへの海外ナショナルチーム等合宿誘致の今後の見通しについて

イギリス代表選手が、本番に向けての最終調整をこのエリアで行うという嬉しいニュースが飛び込んできました。これは県民にとっても誇りです。国内外で認知度を増してきた当エリアの更なるブランド価値の高め方、誘致の状況を尋ねました。

知事 答弁

本年11月に欧州へ赴きイギリスオリンピック委員会との間で協定を締結する予定。またフランス陸上競技連盟とのあいだでも2017年から3年間毎年フランスの選手が当エリアで合宿を行います。アメリカやオーストラリアへも誘致活動を行い、同時に海外のトップクラスの選手からの助言や要請を踏まえトレーニング環境や滞在環境の改善に高山市、下呂市と共に取り組みます。更には、住民の皆さんと海外代表チームとの交流活動についても両市と連携し進めていく。

新聞に掲載されました!



10月1日
岐阜新聞

10月1日 中日新聞

「和の心」を糧に。

岐阜県議会議員

若井あつこ

皆様のお力により、岐阜県議会議員として初当選してから、はや半年が過ぎました。

何もかもが「初めてづくし」で戸惑うことばかりの毎日ですが、一つひとつを全力で取り組んでおります。

4月の選挙戦を振り返りますと、本当に苦しく厳しい戦いでした。ご支援賜りました皆様方には、私が政治経験も知識もない候補者であったゆえに、多大なご心労やご苦勞をおかけいたしましたこと、心よりお詫び申し上げます。

おかげさまで、新人ながら立派な得票数で県議会に送り出させていただきました。絶大なご支援に深く感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

皆様方から賜りましたご厚情を、試練の毎日乗り越える励みとして、「生懸命頑張つてまいります」。

私はこれまで、公益財団法人全日本空手道連盟の日本代表選手として、世界を転戦してまいりました。しかし、空手道を学び始めた目的は「試合で勝つ」ことではなく、身体を鍛えることでした。

私は子供の頃に、交通事故で負ったケガの後遺症に悩まされ、それを克服するために6歳から空手道を学び始めました。

空手道は、何をしても「ダメな子」と言われて、弱気で臆病だった私に「生きる力」を与え、拳力で相手を打ち負かす術ではなく「惻隱の情」こそが大切だということ、そして人を励まし支え、導くことができるのは、「人」であるということを知ることが出来ました。

競技選手を退いてからは、これまでの空手経験を活かし、青少年に可能性へ挑戦することの素晴らしさと「礼節」を説き、高齢者の方々には、毎日を元気に過ごしていただくための健康づくりのお手伝いをさせていただき「先輩方は後進の未来であり希望である!」と声を発してまいりました。

その活動の一方で、今の自分が出ることの少なさや、無力さを痛感しております。

近年私達を取り巻く環境は、人心の荒廃モラルの荒廃が大きな社会問題となつております。特に青少年による痛ましい事件を耳にすると、人として、また一女性として、言い尽くせぬほどの心痛を感じ、私に出来ることは何か? 私にしか出来ないことは何か?を真剣に考えるようになりました。

21世紀のスポーツは、現代社会が直面

する問題の解決に寄与するものでなくてはなりません。それが実現できてこそ、スポーツの意義と未来があり、それを実践していくことが、これからのスポーツに関わっていくものの責務であると考えました。

これがスポーツ界とは全く違う世界である、政治家を志すきっかけのひとつとなりました。

しかし、どちらの世界においても大切なことは同じであると考えます。

「和を持って尊しとなす」

空手道から学んだ「和の心」を糧に、県議会議員となつたこれからは、大所高所に立ち、子どもや青少年、高齢者の方々だけでなく、女性が輝く社会の実現、障害のある方もない方も安心してともに暮らせる豊かな岐阜県の実現のために、全力を挙げて取り組んでまいります。

更なる県政発展のために精励格闘いたしますので、これからも若井あつにご支援賜りますようお願い申し上げます。

(*)惻隱の情：あわれみ、いたむこと。同情すること。



活動報告



県立下呂温泉病院で最新の治療機器の説明を受けました。

厚生環境委員会 県内視察

介護老人施設アットホームしりとり ▶ 乗鞍山麓五色ヶ原の森 ▶ 萩原北 ▶ 県立下呂温泉病院

平成27年8月3日～4日

所属する厚生環境委員会の視察で中濃北・飛騨方面の施設を4ヶ所回らせて頂きました。

この岐阜県に暮らす皆様が、子育てをしながら生き生きと働き、自然の中で健康づくりに励み、病気にかかった際には適切な治療を受け、いつまでも元気で、そして笑顔で充実した生活を送ることが出来る。視察先にはそんなヒントや実例が多々ありました。

どの世代の皆様も「岐阜県に暮らして良かった」と思っただけの県づくりに励んで参ります。



↑ 乗鞍山麓五色ヶ原の森では自然が大切に守られています。



↑ 萩原北醫院の託児所。おもちゃも充実!

厚生環境委員会 視察

県立希望ヶ丘子ども医療センター ▶ 岐阜県障がい者総合相談センター ▶ 社会福祉法人 岐阜県福祉事業団 清流園 ▶ 大野町幼児療育センター なないろ ▶ イビデン株式会社

平成27年9月8日

岐阜県では岐阜市則武・鷺山・早田地区を「ぎふ清流福祉エリア」と命名し、福祉、医療、教育、文化・芸術、スポーツ及び就労を一体にして支援しています。障害者の方も、ご家族の方々も明るく生きがいを持って暮らしていける岐阜県。それが私の願いです。

次に訪れたのは「イビデン株式会社 大垣中央事業場」。こちらでは環境対策に大変力を入れておられ、写真にある通り国内最大級の太陽光発電システムを設置され、年間203トンもの二酸化炭素を削減。世界屈指の会社がこのように環境に対し配慮し、リードして下さる事は本当に頭が下がります。



↑ 県立希望ヶ丘子ども医療センターはとても明るく開放的。



↑ イビデン株式会社の太陽光パネルは圧巻。

子どもたちの明るい未来を約束します。

Pepperと一緒に「はい、チーズ!!」



インフラ整備の現場では皆様が安全第一で作業されていました。



↑ ソフトピアジャパンでのモノづくり。



↑ 歴史好きにはたまらない場所ですね。

新任議員視察

東海環状自動車道建設現場 ▶ ソフトピアジャパン及びIAMAS ▶ 関ヶ原古戦場

平成27年8月6日

東海環状自動車道・西回りルートが着々と進んでいました。インフラが整備されることによって、物流はもちろん人や情報の交流も活発になります。ソフトピアジャパンは来年20周年を迎え、IoT (Internet of Things) -モノづくりとITの融合-をキーワードとし、ITとモノづくり・サービスの融合を進め、ソフトピアジャパン内にあるIAMAS (情報科学芸術大学院大学) では高度な人材の育成も行われています。そして、少し足を延ばすと「天下分け目の関ヶ原」があります。2020年の東海環状自動車道全線開通などを視野にこちらハード・ソフト両面の整備が進められています。国内外から観光客を誘致し、最先端のモノづくりと歴史ある岐阜を楽しんでもらいたいです。



はたおり機の使い方を学んでいるよ!



↑ Café和-なごみ-。高等部の食品加工班の皆さんが担当。



↑ 高等部の作業学習で作成したものは販売もしています。

岐阜県立岐阜本巣特別支援学校 視察

平成27年7月7日

平成20年4月1日、岐阜県教育委員会「子供かがやきプラン」最初の新設校として開校しました。校訓に「夢を育て 未来を創る」を掲げ、小学部から高等部まで213名の児童生徒の皆さんが学んでいます。岐阜県では「第2次岐阜県教育ビジョン」を教育の新たな指針とし、今後5年間の重点政策として「卒業後を見据えた特別支援学校の充実」を挙げています。こちらの学校では高等部になると作業学習が始まり、今回の視察でも作業風景を拝見させて頂き、Café和-なごみ-ではおいしいお菓子のついたコーヒーも頂きました。作業されている皆さんの顔が真剣そのものでキラキラと輝いているのを見て、この学校を巣立つとき、大切な社会の一員として生き生きと社会生活を送って頂けることを願って止みません。

新任議員 視察 飛騨御嶽高原 高地トレーニングエリア

平成27年7月21日

私が現役時代に何度かお世話になった場所です。視察当日も快晴に恵まれ、素晴らしいロケーションでした。

高地トレーニングというと、トップアスリートがスティックにトレーニングをこなすイメージが強いですが、こちらは一般の方ももちろんジュニアの方の競技レベルアップ、シニアの方の体力向上にも利用可能です。

今回の視察後、イギリスオリンピック委員会と県が2020年東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿をこのエリアで行う包括協定を結ぶことが分かりました。とてもうれしいニュースです。県内の他のスポーツ施設も大変評価が高かったと知り「スポーツ立県・ぎふ」に弾みがつき、ますます加速していくことでしょう。



標高1,300メートルに位置するオケジッタ日和田ゾーン。



私も現役時代、何度かお世話になりました。

